

令和6年度 土橋小学校 特色ある学校づくり推進事業 計画書

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域と連携し、21世紀を21世紀を主体的に生きぬく力を備えた土橋っ子の育成	分野	i	その他
	サブテーマ 学校・家庭・地域とのつながりを大切に	その他	SDGs	
学校づくりの視点（ねら）	・生活科・総合的な学習の時間を核とした教科等横断的指導計画を中心に、各教科との関連を図りながら教育を実践し、6年間の学びを通して環境に配慮した望ましい行動ができる子どもを育成し、学びの成果を家庭・地域・企業の外部講師等に発信していく。 ・ESDからSDGsへ視野を広げ、環境教育だけでなく、マザーテレサ隊の活動を通して貧困問題を考えたり、いのちの学習に取り組んだりすることで、みんなで支え合う、誰一人取り残さない世界を目指す人づくりを行う。 ・様々な人とつながり、外部講師や地域の方など、その人の生き方から学ぶ機会を積極的に設定し、心の教育を進めていく。 ・「緑豊かな学校」を維持するために、学校の敷地内の整備を進め、子どもたちが自然に親しむことができるようにする。			
活動内容・計画	1 生活科・総合的な学習の時間を核とした教科等横断的指導計画に基づき、6年間の学びを通して、SDGsの視点から、環境に配慮した望ましい行動ができる子どもを育成していく。 生活科 低学年「自然を愛する心」 1年生 学校・学区の自然に親しむ活動 2年生 学校・学区の自然にかかわる活動 総合的な学習の時間 中学年「管理する態度」 3年生 学校・学区の生き物、景観環境 4年生 学校の樹木・落ち葉プロジェクト 高学年「原理で学ぶ」 5年生 校舎のエコを考える取組 6年生 エコガイド 2 様々な人とのつながりを大切にし、その人の生き方から学び、SDGsを視野に入れた平和な世界や日本の心を大切にする心の教育を進める。6年生を中心にマザーテレサ隊の活動を行い、インドの恵まれない子どもたちに支援物資をおくる。 これらの活動が充実するための樹木、花壇、ピオトープなどの環境整備を行う。			
補助員配置	・学校図書館司書 ・心の相談員			
実績・期待される効果	・生活科・総合的な学習の時間を核とした教科等横断的指導計画に基づき、植物・生き物・樹木などの自然環境と触れ合ったり、環境・景観を調べたりする中で、持続可能な未来の大切さを学んだ子どもたちは、エコガイドを通して、多くの人に伝え広げていくことの素晴らしさと、それが大きな反響を得るということを学び、持続性のあるものになっている。 ・SDGsの観点からエコガイドの活動を通して、自分の生活に結びつけて考え行動したり、友達と共働しながら、未知の課題を解決していく方法を学ぶことができる。 ・調べ学習を進めるうえで、補助員の支援により図書館の利用が増えるなど、効果的な学習が期待できる。 ・補助員が子どもたちの気持ちに寄り添い、子どもの話を聞き、教員との連携を図ることにより、子どもたちの学校生活の安定を図ることができる。			
検証方法	・子どもの学習記録や活動への取組の様子などから、テーマに迫ることができたかを検証する。 ・心の教育については、外部講師の講演や道徳科の授業などの取組の様子から、テーマに迫ることができたかを検証する。 ・図書の貸し出し数や、図書館の利用状況により、その効果を検証する。 ・心の相談員の配置については、児童、教職員にアンケートをとり、効果を検証する。			